

令和3年度「ながさき水産業大賞」受賞者の概要

1. 長崎県知事賞

部門名	受賞者名	概要
魅力ある経営体部門 (経営強化の部)	ツイキ シンイチ 築城 慎一・ ジュイチロウ ケンタロウ 順一郎・建太郎 (対馬市)	長男が水揚げしたアナゴを、次男・三男が調理・加工して、地元消費者、観光客に直接提供する生産販売体制を整え、生産者価格、高鮮度を信条にして、高い顧客満足度を得る総合経営を実現した。「すし処慎一」を拠点としてアナゴ生産地であることが観光資源として活用できることを実証した。 アナゴ料理は、対馬の食文化として、また新たな観光資源として高く評価され、観光業の活性化や雇用創出にも大きく貢献している。
魅力ある経営体部門 (技術・担い手の部)	クサザキ ヤスフミ 串崎 康文 (対馬市)	自身の操業データにスマートアプリの海洋情報を重ね合わせ、イカ釣の漁場形成に関する環境パラメータを特定した。さらに、様々な海洋情報から、漁場形成の予測手法を導き出し、好漁場に狙いを定めるスマート漁業を実現した。 類い稀な探究心を持って臨んでいる海況情報のモニター活動は、試験研究機関が発信する様々な海況情報シミュレーションの精度向上に大きく貢献しており、長崎県のスマート漁業推進に欠かせぬ存在となっている。
魅力ある漁村地域部門	ミズサキ ハエナワセシゲ 水崎延縄船団 (対馬市)	船団員の長期操業漁獲データを基に、県外沖合底曳網漁業との協議を重ね、アカムツ資源保護区設定(紳士協定)の双方合意に至り、以降10年以上にわたり沿岸と沖合漁業が協力して、資源の持続的利用を推進している。さらに、統一した鮮度管理や活魚出荷により経営安定も実現した。 意識向上は島内漁業者に広がり、クエ延縄漁業の操業禁止期間も設定される等、漁業者が一体となった資源の持続的利用体制づくりに進展している。

2. 長崎県漁業協同組合連合会長賞

部門名	受賞者名	概要
魅力ある経営体部門 (経営強化の部)	ゴウ ウラチヨウキキヤ 郷ノ浦町漁業協 ウダクミアイエイテイチ 同組合自営定置 (壱岐市)	新規箱網の導入による漁獲能力の向上や、漁網のメンテナンス性の向上により収益のV字回復を実現した。また、未利用魚を養殖魚や延縄漁業の餌として島内業者に出荷し、高品質な漁獲物を加工業者に提供する取組により、水揚金額の向上を図るとともに、雇用条件の改善や雇用の確保にも取り組む漁協自営定置の優良事例となっている。 定置を利用した食害魚のイスズミやアイゴの駆除により、壱岐市内の磯焼け対策にも貢献しており、今後、食材として利用することで食害魚の資源化も期待される。
魅力ある経営体部門 (技術・担い手の部)	フルス カズヤ 古巣 和也 (五島市)	先代から受け継いだこつぽ漁業において、有蓋たこつぽの仕掛けの開発と巻き上げ機の改良により、一人乗り操業に対応した効率的な操業と安定した水揚げを実現した。また、奈留地区周辺海域でのタチウオ曳網を自らが先導して取り入れ、販売においても創意工夫により高い収益性を確保している。 自らの知識と技術を惜しみなく普及し、地域漁業者の収益性の向上に貢献するとともに、新規漁業就業者の技術指導・育成にも尽力している。
魅力ある漁村地域部門	イサハヤワシ ギョギョウキョウドウ 諫早湾漁業協同 クミアイ セイツウネンブ 組合青壮年部 (諫早市)	地元小学生を対象として、基幹漁業であるカキ養殖の稚貝の設置から水揚げまで一連の流れを体験できる体験学習を長期にわたり自主的に開催している。小長井産カキの消費拡大とPRに貢献するとともに、住民の食育や漁業への理解を深める機会となっている。 14年間にわたる取組の継続により、地域の多くの若者が小学5年生の時にカキ養殖を体験しており、地域の漁業後継者確保・育成への効果も期待される。

3. 特別賞(ながさき水産業大賞運営委員長賞)

受賞者名	概要
魅力ある漁村地域部門	カキモリテイチアミ キョウゴウ 柿森定置網協業 グループ (五島市)
魅力ある漁村地域部門	イキ トウブ ギョギョウキョウドウ 壱岐東部漁業協同 クミアイ イッポンブ クミアイ 組合一本釣り組合 クワミ ブカイ さわら「極」部会 (壱岐市)
魅力ある漁村地域部門	ナガサキシ シンズエ ギョギョウ 長崎市新三重漁業 キョウドウクミアイ 協同組合 サシミアブカイ セイネンブ 刺網部会青年部 (長崎市)